

令和3年10月4日
大地の芸術祭実行委員会
(十日町市観光交流課)

ほくほく線を舞台にしたパノラマティクスによる
大地の芸術祭作品「JIKU #013 HOKUHOKU-LINE」のプレ公開について

北越急行ほくほく線的美佐島駅を舞台にしたパノラマティクス／齋藤精一による大地の芸術祭作品「JIKU #013 HOKUHOKU-LINE」を、来年の夏に開催を予定している「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」に先駆け、プレ公開します。

記

1 公開概要

(1) 作品内容

1997年に開通して以来、新たな地域とのつながりを生み出してきたほくほく線の軌道を使って、地点と地点を結ぶことの尊さやエネルギーを表現した作品です。特別列車の前後に設置された照明装置によって、まっすぐに伸びるトンネルが音と同期して照らされ、特別列車に乗車した人だけが鑑賞できる体験展示となります。

※「JIKU」について

作品「JIKU」は、都市開発や地形の変化などで見えなくなった地域の軸や視点の軸・歴史の軸を光で表現する、作家によるプロジェクトシリーズです。

(2) 作家

パノラマティクス／齋藤精一

※齋藤精一氏は、大地の芸術祭第2回展(2003年)の参加作家

パノラマティクスは、技術と表現の新しい可能性を探求する「ライゾマティクス」の都市開発や地方活性化、行政とのクリエーション、ICT・スマートシティ実装などを担っていたライゾマティクス・アーキテクチャーから、2020年に新たな社会や産業構造の創造と実装に向けて立ち上がったチーム。

チームの主宰である齋藤精一氏は、2025大阪・関西万博People's Living Labクリエイターでもある。

(3) 公開日

11月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)

(4) 場所

ほくほく線 美佐島駅 ※鑑賞するには特別列車への乗車が必要。

(5) 運行時刻

六日町駅～まつだい駅間（途中、十日町駅のみ停車）

運行便	乗車できる駅と出発時刻	鑑賞駅	降車できる駅と到着時刻
1 便	六 日 町 駅：午前10時37分発	美佐島駅	十 日 町 駅：午前11時2分着 まつだい駅：午前11時12分着
2 便	まつだい駅：午前11時22分発 十 日 町 駅：午前11時31分発	美佐島駅	六 日 町 駅：午後0時2分
3 便	六 日 町 駅：午後1時14分発	美佐島駅	十 日 町 駅：午後1時38分着 まつだい駅：午後1時48分着

※美佐島駅での停車時間は、13～18分。美佐島駅では乗降できません。

(6) 料金

一般600円、小中学生400円（税込）

※別に乗車区間の運賃が必要

(7) 乗車定員

1 便あたり 25 名

(8) 申込方法

ほくほく線ホームページから事前予約（10月6日受付開始予定）

2 メディア向け内覧会

(1) 日程

令和3年11月5日（金） 10:30～12:00（予定）

(2) 行程

六日町駅集合～特別列車乗車～作品鑑賞～十日町駅下車

(3) 事前申込

北越急行株式会社 営業企画課(025-750-1251)までお電話にて申込みください。

■お問合せ先

【大地の芸術祭に関すること】

大地の芸術祭実行委員会事務局

（観光交流課芸術祭企画係）担当：齋喜・増田

☎025-757-2637

【特別列車運行及び内覧会に関すること】

北越急行株式会社 営業企画課

☎025-750-1251